

野月一博

(高志会)

市民目線での改革・前進とは

質問 市長の公約に「元気な十和田市」市民目線で「改革・前進」とあるが、「市民目線」で「改革・前進」について何を伺いたい。

答弁 元気な十和田市を築き上げていく原動力は市民のふるさと力であると確信している。これを大いに発揮してもらうためには、多様な市民ニーズに柔軟に対応できる行政であるということ、また市民と行政との役割分担という視点を踏まえた協働によるまちづくりを推進していくことが重要であり、市政運営の基本となると考えている。このような基本姿勢のもとで、市民目線での改革し、将来の発展をしっかりと見据えながら前進していくことが元気な十和田市づくりを進めるために不可欠であるという強い思いから、公約に掲げたものである。

(仮)教育・福祉総合プラザについて

質問 現在提示している見直し案(一案・二案)を決めたプロセスを伺いたい。

答弁 市の財政状況や商店街の活性化等を考慮して再検討することとし、建設用地も含め、これまで協議してきた内容を全面的に白紙撤回するものではなく、平成二十年二月に策定した基本計画を尊重することとした。事業費の節減として、基本計画に予定していた施設機能の見直しを図り、削減できる部分を、遊休施設の有効活用として、十和田湖支所周辺のにぎわいと合併後の一体感を醸成するため、十和田湖保健センター及び十和田湖高齢者福祉センターの活用を図ることを、町なかへの機能分散として、市民交流活動の拠点施設の整備についてをそれぞれ検討した。

このことから、施設機能を集約した構想案一と町なかへの機能分散を図る構想案二の提示に至った。



舛甚 英文

(日本共産党)

中央公民館廃止と文化センターの利用について

質問 これまでの中央公民館利用者数を文化センター等の代替施設で収容できるのか。

答弁 公民館機能は、文化センターでそのまま機能を維持する方向で検討している。もし不足であれば(仮称)教育・福祉総合プラザにも施設をつくるという構想もある。

質問 その代替施設の使用料は現状を維持できるのか。

答弁 文化センターにも条例等に減免措置はあるが、冷暖房使用料等は対象外となっている。公民館の利用と比べ、利用者の負担が大きくなることから、使用料の減免措置について検討していきたい。

質問 文化センターの中に視聴覚センターがあり、施設利用申込書等で煩わしさがある。名称も含め改善する考えは。

答弁 指定管理者側からも市民が申請手続で苦勞しているという意見があるため、今後他自治体から情報収集し、検証していきたい。

中小企業振興基本条例の制定について

質問 地域内の再投資力を高める方策の一つとして注目されている地方自治体による中小企業振興基本条例に今後取り組む考えはないか。

また、中小零細企業の振興にかかわって、住宅リフォーム事業を実施する考えはないか。

答弁 政府では今年中小企業憲章を制定し、青森県では中小企業振興基本条例を公布し、中小企業の役割と国及び県の中小企業政策の基本的考え方や方針を打ち出しているが、県内では条例を制定している市町村はない。当市では、これらの理念を踏まえ、市独自の条例制定のあり方等について調査、研究していきたい。

住宅リフォーム助成は、現在商工労政にかかわる予算全体を勘案し、実施の可能性について検討している。

畑山 親弘

(市政・社民クラブ)

中央病院の医師、看護師確保対策について

質問 医師、看護師確保のため奨学金制度を設け、将来に備えてはどうか。

また、病院は女性が多い職場でもあるため、院内に保育所を設けてはどうか。

さらに、医師住宅は老朽化しているが、魅力ある住宅環境にすべきではないか。

答弁 現在県で実施している県内自治体病院の勤務医を希望する医学生に対する経済支援事業に当市も年額百万円程度負担金を拠出して、奨学金制度は有効な制度と認識しており、今後当市で実施できるか検討していきたい。

院内保育所は、運営費にかかわる経費負担が多額であることなど課題も多いため、今後地域の保育事情を調査し、実施している病院の状況等を含め検討していきたい。

当院保有の医師住宅は築二十年以上がほとんどで、毎年修繕しているが、老朽化が著しく、現状では一部

を民間から借り上げて対応している。今後は民間住宅の借り上げを中心に住環境整備に努めていきたい。

子どもの居場所づくりについて

質問 (仮)教育・福祉総合プラザ整備構想で一案と二案が出されたが、当初の原点である子供機能部分、子供の居場所づくり部分が欠落しているように感じているが、どのように考えているのか。

答弁 親子ふれあい広場やプレイルーム、相談室など当初計画の施設機能を継承することとしている。ファミリーサポートセンターは、みきの保育園南側に開設していることから構想案から削除している。



ファミリーサポートセンターでの保育実習